

株主名簿管理人の連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式のお手続きについてのご注意

- 1.株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求、配当金振込口座の指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。
- 3.除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行でお支払いいたします。

公告の方法

電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

● 公告掲載のURL

<https://www.lawson.co.jp/koukoku/index.html>

当社ウェブサイトからも
さまざまな情報をご覧いただけます。



<https://www.lawson.co.jp/>

VALUE BOOK

第46期 中間報告書 2020年3月1日~
2020年8月31日

「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」



LAWSON

株式会社ローソン

〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号
TEL 03-6635-3963
<https://www.lawson.co.jp/>

2020年11月発行

© 2020 Lawson, Inc. All rights Reserved.



本報告書に記載されている当社グループの現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の実績などに関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績などは、さまざまな要因の影響を受け、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

LAWSON

グループ
理念

私たちは“みんなと暮らすマチ”を
幸せにします。

ビジョン

目指すは、マチの
“ほっと”ステーション。

ローソン
WAY

1. マチ一番の笑顔あふれるお店をつくろう。
2. アイデアを声に出して、行動しよう。
3. チャレンジを、楽しもう。
4. 仲間を想い、ひとつになろう。
5. 誠実でいよう。



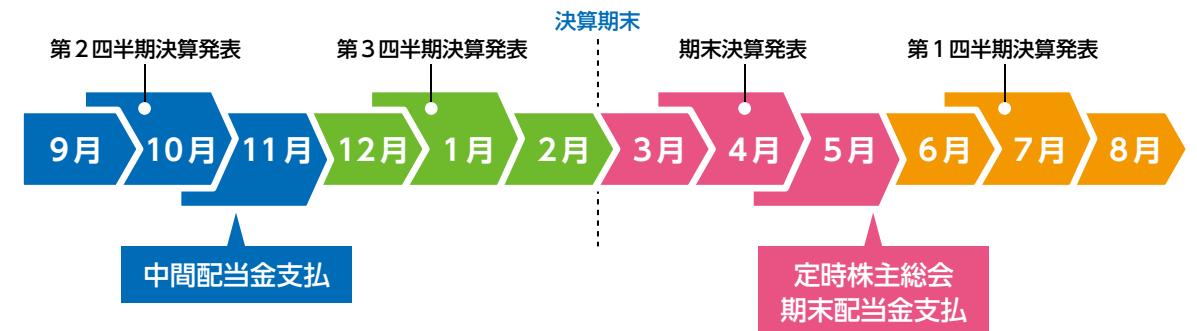
連結業績ハイライト (単位:億円)

	チェーン全店売上高		営業総収入		営業利益	
	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期
前 期	12,769	25,069	3,691	7,302	367	629
当 期	11,732	24,000*	3,228	6,700*	166	350*
前年同期比	8.1%減	4.3%減*	12.5%減	8.2%減*	54.6%減	44.4%減*

	経常利益		四半期(当期)純利益		1株当たり配当金(円)	
	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期	中 間	期 末
前 期	351	563	201	201	75	75
当 期	148	300*	33	50*	75	75*
前年同期比	57.7%減	46.8%減*	83.6%減	75.1%減*	増減なし	増減なし*

*は予想です。

IRカレンダー



当社と加盟店を取り巻く事業環境は厳しさを増しておりますが、今年度に定めた新たな行動指針「ローソンのWAY」のもと、本部と加盟店が一丸となり“マチを幸せにする”という共通の目標に取り組んでまいります。

2020年度中間期の連結業績について

当社は、グループ理念である「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」の具現化を目指し、事業を展開してまいりました。当第2四半期は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、日本国内でも緊急事態宣言が発令され、さまざまな施設の休業やイベントの中止、外出の自粛などにより、経済・社会活動に甚大な影響を及ぼしました。このような環境下、徹底した感染防止策を講じるとともに、お客様の生活スタイルやニーズの変化に柔軟に対応し、事業を継続してまいりました。

国内コンビニエンスストア事業は、緊急事態宣言解除後の6月には売上に回復の兆しが見られましたが、7月以降感染者が増加に転じ再び外出の自粛が求められたことや、天候面では長期間の大雨をもたらした豪雨や梅雨明けの遅れなどにより、お客様の来店動向や売上に影響を及ぼしました。店舗数につきましては、236店舗を出店し、180店舗を閉店した結果、2020年8月末においては、14,500店舗と、56店舗の純増となりました。海外においては、新規出店を進めた結果、2020年8月末における海外店舗数は3,130店舗と、212店舗の純増となりました。

これらの結果、連結チェーン全店売上高1兆1,732億円(前年同期比91.9%)、連結営業総収入は3,228億円(同87.5%)と、それぞれ前年同期を下回りました。また、国内ローソン事業の既存店売上高(チケット・ギフトカード等の影響を除いたベース)は、外出を控え自宅で料理をする方が増えたことに対応して品揃えを拡充した生鮮野菜や冷凍食品の販売などが伸長し、デザートも好調を維持しましたが、お客様の来店数は回復せず、前年同期比は91.0%となりました。

利益面では、引き続きスーパーマーケット需要が高く、成城石井事業の売上は好調に推移したものの、国内コンビニエンスストア事業全体の売上は大きく減少しました。加えて、コンサートやイベントなどの開催制限が続く中、オンラインライブ配信チケットの取り扱い拡大などに取り組みましたが、チケット取扱高が減少したことなどで、エンタテインメント関連事業の売上が大きく減少しました。その結果、連結営業利益は166億円(前年同期比45.4%)、連結経常利益は148億円(同42.3%)、連結当期純利益は33億円(同16.4%)と、前年同期を下回りました。

2020年度の主な取り組みについて

すべてのお客様から推奨されるローソンを目指し、「圧倒的な美味しさ」「人への優しさ」「地球(マチ)への優しさ」の3つの約束を実現するための施策を強化してまいりました。

商品につきましては、米飯では「金しゃりおにぎりシリーズ」、カウンターファストフードでは、ホットスナックの新商品「GU-BO(グーボ)」及び「からあげクン」の期間限定商品、デザートでは、食感や見た目、素材などにこだわった“新感覚スイーツ”など、圧倒的美味しさを追求した商品が売上に寄与しました。また、店頭での人気コンテンツを活用したキャンペーンでは、エンタテインメントに触れる場と商品を提供することで、お客様の来店を促すことにつながりました。

巣ごもり需要に即した取り組みとして、冷凍食品等の日常生活における需要の高い商品の拡充に加え、全国のローソン店舗にて開催している「新鮮野菜市」売場にて、自宅で調理されるお客様のニーズにあわせ、野菜の単品販売を始めました。「まちかど厨房」やファストフーズでは、外食自粛の反動から「少しでも食を楽しみたい」というニーズを受け、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者と共同開発した商品を提供し、お客様のニーズにお応えするとともに、事業者支援に取り組みしました。

7月から、地球環境を守る取り組みの一環として、日本全国でプラスチック製レジ袋の有料化が義務づけられましたが、当社ではレジ袋を1枚3円でご提供するとともに、植物由来の素材を30%配合した仕様に順次変更するなど、プラスチックの削減に努めました。

店舗における新型コロナウイルス感染防止策として、お客様と店舗従業員の安全を第一に、レジカウンターへのビニールシート設置、ソーシャルディスタンスの確保、ご来店時間の分散、従業員の手洗い・うがいの励行、アルコール消毒の徹底及びマスクの着用などに引き続き取り組んでおります。また、全店に配備しているセルフレジの利用を促進しました。

加盟店利益向上のため、廃棄ロス、水光熱費、人件費などの店舗経営において比重の大きいコストの低減に取り組むなどした結果、第2四半期では加盟店利益が前年同

期を上回りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で売上が大幅に減少した加盟店に対し収益面や資金面で支援するなど、より強いパートナーシップの構築を進めております。さらに、店舗の経営安定化に向けての施策として、短期・中長期でそれぞれ行っている経営店舗の複数化に向けた支援、店長育成支援や新規加盟者への施策については、継続実施しております。

通期の利益計画と配当金について

当初計画の連結営業利益350億円、1株当たり年間配当金150円の計画に変更はありません。今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、消費の回復にはまだ時間を要するものと考えますが、お客様の購買行動の変化やコンビニエンスストアに求めるもの(商品・サービス)の変化に、いち早く対応するとともに、便利さだけでなく、新商品やエンタメなどを通じて楽しさを提供できる「マチのほっとステーション」の実現を目指してまいります。株主・投資家の皆さまにおかれましては、当社の経営戦略にご理解とご支援をいただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。

代表取締役 社長

竹増 貞信

(たけます さだのぶ)

1969年生まれ。三菱商事株式会社入社、広報部、総務部兼経営企画部長業務秘書などを経て、2014年当社入社、副社長。2016年6月代表取締役社長に就任、現在に至る。



連結営業利益

166 億円 (前年同期比 45.4%)

連結経常利益

148 億円 (前年同期比 42.3%)

連結当期純利益

33 億円 (前年同期比 16.4%)

ローソンの 商品情報 & サービス



串カツ田中との
コラボ商品

日本の食を守る第1弾として「串カツ田中」の特製ソースを使用したソースカツ丼を、コラボ商品第2弾では、串カツ盛合せ、からあげクン串カツ田中監修紅生姜味を発売しました。



串カツ田中ソースカツ丼
(三元豚コース)
ローソン標準価格：598円(税込)



串カツ田中ソース使用
串カツ盛合せ(豚玉・うずら卵・
紅ショウガ・れんこん)
ローソン標準価格：240円(税込)



からあげクン串カツ田中監修紅生姜味
ローソン標準価格：216円(税込)

冷凍食品
「ビストロシリーズ」

素材や製法にこだわった、専門店のような本格的な味わいを手軽にお楽しみいただける冷凍食品“ビストロシリーズ”として、計4品を展開しています。ビストロシリーズはご自宅で“プチ贅沢”気分を手軽に味わっていただけるようワインに合うメニューを揃え、一人で食べられる小容量の個食タイプにしました。それぞれが個包装になっているため、そのままお召し上がりいただけます。



黒トリュフソースで食べる
ローストビーフ
ローソン標準価格：399円(税込)



5層仕立てのラザニア
2個入り
ローソン標準価格：399円(税込)



ビーフストロガノフ
2個入り
ローソン標準価格：399円(税込)



ベーコンとほうれん草の
キッシュ 2カット入り
ローソン標準価格：399円(税込)

野菜販売の強化、週末セール実施

新しい生活スタイルの中で、変化するお客さまのニーズに合わせ、日常の献立での使用頻度が高く、調理しやすい量の野菜を販売しています。



野菜販売イメージ

生活
支援



導入から1年、Uber Eats 導入店舗
1,000店舗突破

2019年8月からコンビニでは初めてスタートしたUber Eats 導入店舗が2020年8月に12都府県、1,000店舗を突破しました。ご自宅から距離が近いコンビニでも配達ニーズが増加しています。主に弁当、おにぎり、酒類、フライドフーズ、デザート、ベーカリー、冷凍食品など、約300品目を取り扱っています。売上分は、店舗の日販の上乗せするため、加盟店の収益改善にもつながっています。

▶ ローソンにおけるUber Eatsの売上高上位品(7月度実績)

売上高 上位商品

1位 「からあげクン レッド」

2位 「からあげクン チーズ」

3位 「からあげクン レギュラー」



With コロナのおでん販売開始

レジカウンター横にて展開するおでん鍋の前方に、飛沫防止用アクリル板ついた“おでんシールド”を設置し、さらに常時蓋を閉め、販売時のみ開放することで安全・安心な売場環境を整えます。また、本年度から価格を90円(税込)に統一し^(※1)、人気商品やお酒に合う具材を集めたセット商品の販売も開始します。

(※1) 一部エリア商品は90円(税込)ではありません。カウンターで販売しているお持ち帰りの商品が対象となります。



「おでんシールド」設置イメージ

おでん
販売



第2四半期連結損益計算書のポイント (単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2019年3月1日~2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (2020年3月1日~2020年8月31日)	増減率
(チェーン全店売上高)	(1,276,999)	(1,173,254)	△8.1%
営業総収入	369,131	322,890	△12.5%
売上原価	102,794	88,658	△13.8%
営業総利益	266,337	234,232	△12.1%
販売費及び一般管理費	229,573	217,541	△5.2%
営業利益	36,763	16,690	△54.6%
経常利益	35,147	14,862	△57.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,107	3,307	△83.6%

ポイント
1

コロナ禍の影響により営業総収入が減少

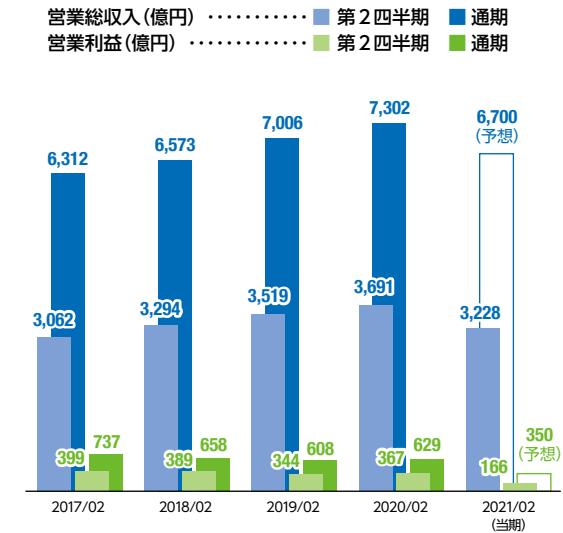
主にコロナ禍の影響に伴い、加盟店からの収入が減少したことなどにより、営業総収入は、前年同期に比べ12.5%減少の3,228億90百万円となりました。

ポイント
2

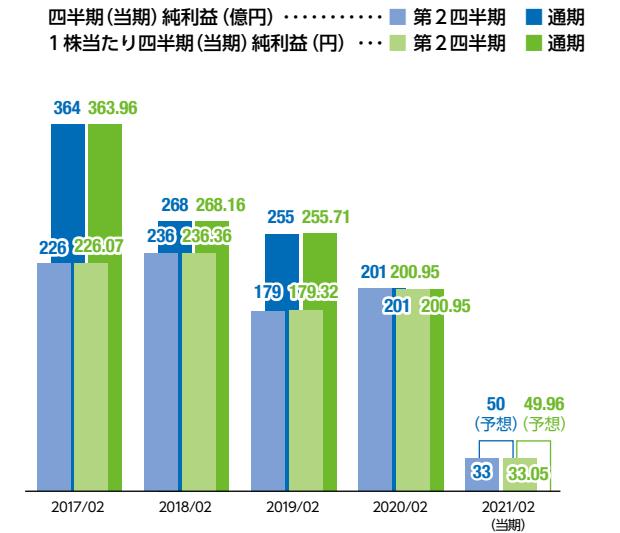
コロナ禍の影響により営業費用減少となるも、営業総収入の減少により営業利益が減少

コロナ禍の影響により、販促活動を抑えた影響や店舗関連費用が減少した影響等があったものの、営業総収入の減少が費用の減少を上回ったことから、営業利益は、前年同期に比べ、54.6%減少の166億90百万円となりました。

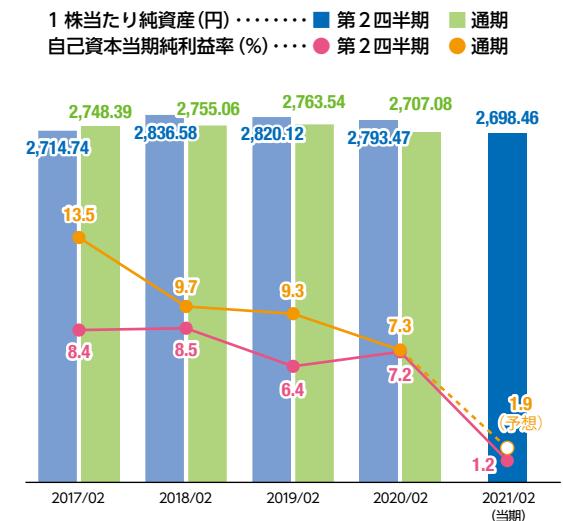
営業総収入・営業利益



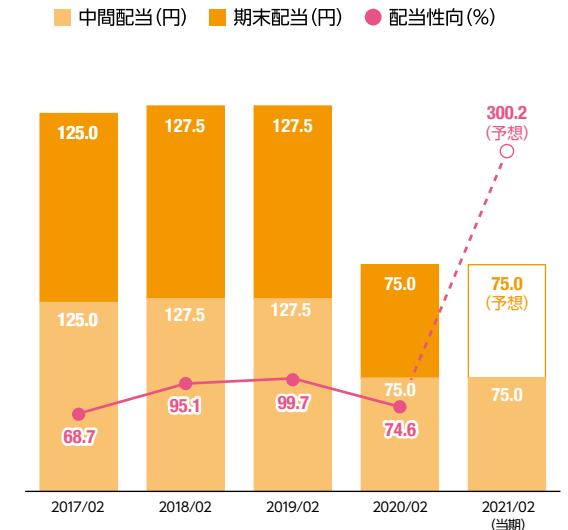
四半期(当期)純利益・1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり純資産・自己資本当期純利益率(ROE)



配当金と配当性向の推移

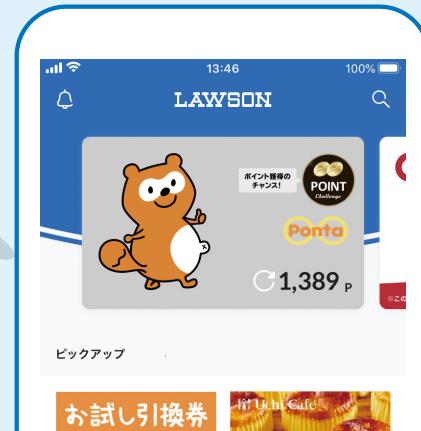


ローソン公式アプリ1,000万ダウンロード達成 ～「お得」と「便利」と「楽しさ」を目指して～

ローソン公式アプリは、6月17日時点で累計1,000万ダウンロードを達成しました。今後もお客さまの声を聞きながら、ローソンでのお買い物を、“お得”で“便利”に楽しんでいただけるアプリを目指してまいります。

ローソン公式アプリの主な機能

- 1 「デジタルポイントカード」表示機能
- 2 デジタルポイントカードとクーポンのバーコードをまとめて表示できる「MY BOX」機能
- 3 「クーポン」・「お試し引換券」表示機能
- 4 スマホがレジになるキャッシュレス決済「ローソンスマホレジ」機能
- 5 レシートごとに貯まったスタンプで景品に応募できる「レシートスタンプ」機能
- 6 店舗を廻り貯まったスタンプで景品に応募できる「スマホスタンプラリー」機能
- 7 対象商品を購入でボーナスポイントがもらえる「アプリ限定ボーナスポイント」機能



ローソン公式アプリトップ画面イメージ
※ご利用いただける店舗は一部に限られます。

無印良品ブランドの取り扱い 実験販売開始

お客さまのニーズに合った品揃えを目指すため、株式会社良品計画と協同して無印良品ブランドの商品約500品目を、都内のローソン店舗にて、実験販売を開始しました。



会社概要

社名	株式会社ローソン
所在地	〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号 TEL.03-6635-3963
設立	1975年4月15日
資本金	585億664万4千円
決算期	毎年2月末日
配当基準日	毎年2月末日、8月末日
社員数	4,828人(単体)
事業内容	コンビニエンスストア「ローソン」「ナチュラルローソン」及び「ローソンストア100」のフランチャイズチェーン展開

役員

代表取締役社長	竹増 貞信
取締役	今田 勝之
取締役	中庭 聡
取締役	京谷 裕
取締役(社外)	林 恵子
取締役	西尾 一範
取締役(社外)	岩村 水樹
取締役(社外)	鈴木 智子
常勤監査役	郷内 正勝
常勤監査役	今川 秀一
監査役(社外)	辻山 栄子
監査役(社外)	五味 祐子
監査役(社外)	吉田 恵子

株式の状況

発行可能株式総数	409,300千株
発行済株式の総数	100,300千株
単元株式数	100株
株主数	31,362名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1. 三菱商事株式会社	50,150	50.1
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,318	4.3
3. 株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,698	2.7
4. KDDI株式会社	2,110	2.1
5. 株式会社NTTドコモ	2,092	2.1
6. STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234	1,650	1.6
7. 株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	1,410	1.4
8. 日本証券金融株式会社	1,054	1.1
9. 株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	1,038	1.0
10. STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	970	1.0

※上記の持株比率は、自己株式232,805株を控除して算出しております。

所有者別分布状況

